



市土第 20号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

千葉県市原市長 佐久間 隆義



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、平素より本市の道路行政に対しまして格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたしますのでご査収願います。

記

1. 【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

- 首都圏中央連絡自動車道（高規格幹線道路）の早期開通について
現在、市原市域間、約8kmの用地取得や工事が進められております。本路線は、本市の発展に欠かすことのできない重要な道路であり、内陸部の経済発展の起爆剤となるものと確信しております。
「目標宣言プロジェクト」で示した平成22年3月に供用開始ができるよう要望いたします。
- 第二東京湾岸道路（地域高規格道路「候補路線」）の早期事業化について
本路線は、首都圏の環状方向の道路網を強化する路線であり、東京湾臨海部に集中する交通を適切に分散して、千葉～東京間の交通アクセスの向上並びに渋滞解消を図るものです。
本市ばかりでなく、東京湾臨海部の交通の利便性向上を実現させるため、産業振興の面からも早期の事業化を要望いたします。
- (仮称) 牛久環状道路の早期整備について
牛久地区は、国道297号、国道409号、主要地方道市原天津小湊線や小湊鉄道が結節する交通の要衝地となっております。
特に、牛久市街地を通過する国道297号及び国道409号は、慢性的な交通渋滞が発生しており、また、東京湾アクアラインからの交通量も増大し、沿道環境の悪化や商業活動の妨げとなっております。

また、平成19年2月21日に地元有志による「(仮称)牛久環状道路建設促進協議会」が発足し、周辺住民から抜本的渋滞解消策を求められております。

今後、協議会とともに、早期整備を事業主体である千葉県に働きかけたいと考えますので、後押しのほどよろしく願いいたします。

2. 【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

- 日常生活に欠かせない医療機関・公共施設・商業施設・公共交通機関へのアクセス性の向上が求められており、特に今後の急速な高齢化を勘案しますと、バス交通等の重要性が増すものと考えられます。

その基盤となる道路網整備の促進を図るべきものと考えます。

- 快適な生活環境の構築と活力ある市街地の形成についても、市原市交通バリアフリー基本構想、また、中心市街地の活性化等も踏まえた整備を図る必要があると考えます。

3. 【その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見】

- 東京湾アクアライン通行料金の値下げについて

首都圏中央連絡自動車道が平成22年3月に供用開始されることにより、東京湾アクアラインの利用も増加すると思われませんが、現在の通行料が高いことから、圏央道の活用の足かせとなるのではないかと懸念いたします。

利用者数の増加を図り、道路特定財源の確保を推進する上でも東京湾アクアラインラインの通行料の値下げが必要ではないかと考えます。

- 臨海部に工場地帯があることから、防災対策を踏まえた道路整備や健全な維持管理が必要であり、計画的なメンテナンスを図るべきものと考えます。
- 交通事故対策の推進についても切実な問題であり、今後ともに、事故多発地域や危険箇所への解消に向けて取り組んで行かなければならないと考えます。
- 本市は、約368k㎡の行政面積を有しており、広域であるゆえ道路施設の整備は、重要施策のひとつであることから、幹線道路整備のみならず生活道路の補修管理に至るまで、多大な費用を要するため、自動車重量譲与税等の財源確保が必要となります。

重点化・効率化の改革推進にあたっては、財源面においては現制度と同等の仕組みとなるようご配慮願います。